

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グランドメゾン荒戸2丁目新築工事	階数	地上21F
建設地	福岡市中央区荒戸2丁目	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	204 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2019年7月2日
敷地面積	1,656 m ²	作成者	株式会社手島建築設計事務所 福岡本社一級建築士事務所
建築面積	731 m ²	確認日	2019年7月5日
延床面積	6,506 m ²	確認者	株式会社手島建築設計事務所 福岡本社一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 62%
③上記+②以外の 62%
④上記+ 62%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	設計住宅性能評価 断熱等性能等級の最高等級取得を中心に各評価項目の室内環境、サービス性能、室外環境(敷地内)、エネルギー、資源・マテリアル、敷地外環境において配慮した設計を行った。	その他 特になし
Q1 室内環境	室内環境において昼光率、方位別開口部、昼光制御、化学汚染物質を中心に配慮された設計がなされている。	Q3 室外環境(敷地内) 室外環境(敷地内)において生物環境の保全と創出、まちなみ・景観への配慮、地域アメニティへの配慮、いずれも中程度の取組がなされた設計である。
LR1 エネルギー	日本住宅性能表示基準 断熱性能基準 等級4 に相当させ、エネルギーにおいて、配慮した設計がなされている。	LR3 敷地外環境 敷地外環境において、地球温暖化へ配慮してLCCO ₂ 排出率を62%へ抑えた。
Q2 サービス性能	サービス性能において、広さ景観評価に配慮した天井高さを2.5m以上確保した。免震構造を採用し建物構造計画に配慮した設計がなされている。	
LR2 資源・マテリアル	資源・マテリアルにおいて、節水、リサイクル材の利用、部材の再利用可能性の取組を中心に配慮された設計がなされている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される